

## フェイスマスク

軽症から中等症程度の低酸素症の傷病者に適応



長所	鼻カニューレより高い吸入酸素濃度が得られる。 簡便であり、使用しやすい。
短所	マスクが鼻と口の両方を覆うため、密閉感や胸苦感を訴える場合がある。
注意点	吸気流速や1回換気量が多い場合には、吸入酸素濃度が低下する。

## リザーバ付きフェイスマスク

重度の低酸素症の傷病者に適応



長所	リザーバに酸素が貯留するため、吸気流速や1回換気量が多い場合にも高い吸入酸素濃度を提供できる。
短所	流量が少ないと吸気流量不足となり、吸入酸素濃度を維持できない。 また、強い胸苦感を訴える場合がある。
注意点	マスクを装着する前にリザーバ内を酸素で満たしておく必要がある。

### 装着手順



①減圧弁で流量を調節する。



②リザーバを膨らませる。



③マスクを当て、紐の長さを調節する。

### 投与酸素流量と期待される吸入酸素濃度

資器材名	鼻カニューレ			フェイスマスク			リザーバ付きフェイスマスク		
	1L/分	2L/分	4L/分	4L/分	6L/分	8L/分	6L/分	8L/分	10L/分
吸入酸素濃度	24%	28%	36%	40%	50%	60%	60%	80%	99%

### POINT!

フェイスマスクはその構造上、呼気の一部がマスク内に残存することがあり、低流量ではそれを再呼吸してしまいます。

4L未満の酸素流量に設定する場合は鼻カニューレを使用しましょう。

また、鼻カニューレで4L、フェイスマスクで8Lを超える酸素流量に設定しても吸入酸素濃度は上昇しませんよ！

### おわりに

傷病者に接触したら、第1印象(反応の有無、顔色、顔貌、皮膚性状)、気道、呼吸、循環、意識の観察を行い、搬送中の症状悪化が危惧されるならばSPO<sub>2</sub>値にかかわらず適切な流量と方法で酸素を投与してください。

酸素投与に限らず処置の適応を見極めるには、先立って適切な観察が必要ということをお忘れなく！